

令和5年度 富山県立福岡高等学校 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	世界史 B	単位数	4	対象学年 コース・類型	第3学年 英語コース、文系
科目の概要と目標	古代から現代にわたる世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。						
教科書	詳説世界史 改訂版 (山川出版社)						
副教材	最新世界史図説タペストリー 二十訂版 (帝国書院) 新世界史研究ノート応用編 (啓隆社) 新世界史要点ノート応用編 (啓隆社) 五訂 必携世界史用語 (実教出版) 世界史重要語句 Check List (啓隆社) 30日完成スピードマスター世界史問題集 (山川出版社)						
単元および学習内容				学習到達目標			
第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立				<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代、ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立など近世ヨーロッパ世界の形成の過程を理解する。 ・ヨーロッパの主権国家体制の展開の過程を、それを支えた重商主義政策と関連付けながら理解する。 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪競争と大西洋三角貿易がもたらした国際的な枠組みを理解する。 ・産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 ・アメリカ独立革命やフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 			
第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺				<ul style="list-style-type: none"> ・欧米における近代国民国家の発展や、ヨーロッパ勢力の海外進出に伴うアジア諸国の動揺・改革から両世界の動向を理解する。 			
第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界				<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の特質と、19世紀後半から20世紀初頭の支配・従属関係を伴う一体化と国際社会の変容を理解する。 ・二つの世界大戦や民族運動から、20世紀前半の各地域世界の動向と国際社会の特質を理解する。 ・米ソ冷戦期の世界の動向を理解する。 ・東欧諸国の民主化と冷戦の終結、ソ連の解体、地域統合などの1970年代以降の動向を理解する。 ・東欧社会主義圏の消滅やソ連解体以降の経済のグローバル化の進展について理解する。 ・途上国の民主化の進展とアジア社会主義国家の変容を理解する。 ・地域紛争や同時多発テロ後の戦争などの解決や軍縮の試みについて理解する。 ・情報技術・科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特徴について理解する。 			
評価の観点と方法	関心・意欲・態度	授業中の態度や発問応答、授業ノート取り組み状況や課題提出状況等					
	思考・判断・表現	授業で行う課題、定期考査等					
	資料活用の技能	授業で行う課題、定期考査等					
	知識・理解	授業中の発問応答、授業で行う課題、小テスト、定期考査等					

令和5年度 富山県立福岡高等学校 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	日本史 B	単位数	4	対象学年 コース・類型	第3学年 英語コース・文系
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通史学習を通し、社会や文化の変化を大きく捉える。 ・ 資料を活用し、歴史的背景を理解する。 ・ 基本的な事柄や、重要人物の事績の学習を通し、社会的考察力を身に付ける。 						
教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)						
副教材	改訂版 詳録新日本史史料集成 (第一学習社) 日本史用語集改訂版 A・B 共用 (山川出版社) 歴史資料館日本史のライブラリー (東京法令出版) 新日本史研究ノート応用編 (啓隆社) 日本史重要語句 Check List (啓隆社)						
単元および学習内容				学習到達目標			
近世の社会・文化と国際社会 1 織豊政権 2 江戸時代				<ul style="list-style-type: none"> ・ 荘園公領制の消滅と新秩序の成立を重要人物の政策を踏まえて理解できる。 ・ 江戸幕府の政治組織、経済基盤などを理解し、幕藩体制下の封建社会を理解する。 ・ 江戸時代の外交関係を通して、国際社会の中に日本が組み入れられていく過程を理解する。 ・ 経済環境の変化と、封建体制の終焉の関係を理解する。 			
近代日本の形成と東アジア 1 明治時代				<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代社会への移行と、経済、政治、文化との関係を理解できる。 ・ 啓蒙思想の影響による自由民権運動の進展と、国家主義への移行を、重要な事件を踏まえて理解する。 			
二つの世界大戦と日本 1 大正時代 2 昭和時代 (戦前)				<ul style="list-style-type: none"> ・ 大正デモクラシーと政党政治の関係を、重要な出来事を踏まえて理解する。 ・ 国際社会における日本の変化を、東アジア、欧米との関係を踏まえて理解する。 ・ 軍国主義の強化を、経済問題との関係を踏まえて理解する。 			
第二次世界大戦後の日本と世界 1 昭和時代 (戦後)				<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後の民主化を、占領政策との関係を踏まえて理解する。 ・ 経済発展の光と影を、政治、文化の出来事と合わせて理解する。 ・ 石油危機後の政治と経済の変化を理解する。 			
評価の観点と方法	関心・意欲・態度	授業への取り組み状況、課題の提出状況					
	思考・判断・表現	授業中の発問応答・発表、定期考査					
	資料活用の技能	授業中の作業学習・分析、定期考査					
	知識・理解	定期考査					

令和5年度 富山県立福岡高等学校 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理 B	単位数	4	対象学年 コース・類型	第3学年 英語コース・文系
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や様々な地図の活用を通して、地図の有用性に気付くとともに、地理的技能を身に付ける。 世界の地形、気候、植生などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や人間生活とのかかわりなどについて考察するとともに、現代世界の環境問題を大観する。 世界の資源・エネルギーや農業、工業などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察するとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を大観する。 						
教科書	新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)						
副教材	新詳地理資料 COMPLETE (帝国書院) 新地理の研究 (啓隆社) 地理統計 Plus (帝国書院)						
単元および学習内容				学習到達目標			
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 5節 世界の工業 6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通・通信 8節 現代世界の貿易と経済圏 3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題				<ul style="list-style-type: none"> 世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察することができる。 現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色を考察することができる。 交通や通信の発達による一体化と地域差を考察することができる。 世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察することができる。 世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察することができる。 世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察することができる。 村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察することができる。 世界の都市・居住問題を大観し、その要因と発生のしくみを、発展途上国、先進国、日本の事例で考察することができる。 衣食住を取りあげ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について考察することができる。 民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察することができる。 国境と領域のきまりや様々な国家の分類について考察することができる。 世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察することができる。 			
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 1節 地誌の考察方法 2節 東アジア 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ				<ul style="list-style-type: none"> 地域概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づくことができる。 東アジアについて、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 東南アジアについて、自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEAN と工業、ASEAN 諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 南アジアについて、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT 産業という多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に 			

令和5年度 富山県立福岡高等学校 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	地理 B	単位数	3	対象学年 コース・類型	第3学年 理系
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> 地球儀や様々な地図の活用を通して、地図の有用性に気付くとともに、地理的技能を身に付ける。 世界の地形、気候、植生などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や人間生活とのかかわりなどについて考察するとともに、現代世界の環境問題を大観する。 世界の資源・エネルギーや農業、工業などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察するとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を大観する。 						
教科書	新詳地理 B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)						
副教材	新詳地理資料 COMPLETE (帝国書院) 新地理の研究 (啓隆社) 地理統計 Plus (帝国書院)						
単元および学習内容				学習到達目標			
第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 3節 世界のエネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 世界の工業 6節 第3次産業 7節 世界を結ぶ交通・通信 8節 現代世界の貿易と経済圏 3章 人口、村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題				<ul style="list-style-type: none"> 世界のエネルギー・鉱産資源について、エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察することができる。 資源・エネルギー問題について、現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察することができる。 世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察することができる。 現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色を考察することができる。 交通や通信の発達による一体化と地域差を考察することができる。 世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察することができる。 世界人口の分布の特色や動態、人口構成や人口転換を考察することができる。 世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察することができる。 村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察することができる。 世界の都市・居住問題を大観し、その要因と発生のしくみを、発展途上国、先進国、日本の事例で考察することができる。 衣食住を取りあげ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について考察することができる。 民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察することができる。 国境と領域のきまりや様々な国家の分類について考察することができる。 世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察することができる。 			
第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域 1節 地誌の考察方法 2節 東アジア				<ul style="list-style-type: none"> 地域概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づくことができる。 東アジアについて、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して考 			

<p>3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アングロアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア</p> <p>3章 現代世界と日本</p>	<p>察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアについて、自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEAN と工業、ASEAN 諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 ・南アジアについて、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT 産業という多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 ・西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目し、自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察することができる。 ・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察することができる。 ・ヨーロッパについて、気候と大地、成り立ち、域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 ・ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目し、歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 ・アングロアメリカについて、自然環境、移民と発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して考察することができる。 ・ラテンアメリカについて、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察することができる。 ・オセアニアについて、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつき、輸出される農畜産物という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察することができる。 <p>・現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察することができる。</p>
---	---

<p>評価の 観点と 方法</p>	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>授業への取り組み状況、課題の提出状況</p>
	<p>思考・判断・表現</p>	<p>授業中の発問・発表、定期考査</p>
	<p>資料活用の技能</p>	<p>授業中の作業学習・分析、定期考査</p>
	<p>知識・理解</p>	<p>定期考査</p>

令和5年度 富山県立福岡高等学校 シラバス

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2	対象学年 コース・類型	第3学年
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の合理的実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、運動の必要性を理解し、生涯を通して自己の能力に応じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 ・集団の中で規律ある行動をとる必要性を理解させる。 ・自己の体力・運動能力の現状をすることにより、これからの体育活動の意欲を喚起する。 ・選択制授業において、メンバーの特性を生かしポジションを工夫し、システムなどを活用してゲームを楽しむ。 ・運動を計画的に進めていくうえで、チームや個人の課題を設定し、その課題を創意・工夫によって解決する力を養う。 ・豊かなスポーツライフを実現できるように理論を理解させる。 						
教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館書店)						
副教材	現代高等保健体育ノート (大修館書店)						
単元および学習内容				学習到達目標			
体づくり運動 ・体力の3要素(持久力・スピード・筋力)を理解し、全身的な体力を養う。				・体力の3要素を理解して、自ら積極的に体力の向上を目指すことができる。			
陸上競技(短距離走、持久走) ・50m走 ・100m走 ・200m走 ・1000m走 ・1500m走				・種目の特性を高め、自己記録を高めたりすることができる。			
選択球技(ソフトボール) ・既習技能を高め、連係プレーなどの集団的技能や投打などの個人的技能を試合に活用する。 ・ルールを理解し、協力して試合を行う。				・既習技能を高め、連係プレーや投打の向上を目指し試合で活用することができる。 ・ルールを理解し、協力して試合を行うことができる。			
選択球技(サッカー) ・既習技能を高め、段階に応じた作戦を立て、チームの攻守のシステムを理解し練習をする。 ・ルールを理解し、協力して試合を行う。				・既習技能を高め、チームでの自己の役割を理解し、試合で生かすことができる。 ・ルールを理解し、協力して試合を行うことができる。			
選択球技(バレーボール) ・既習技能を高め、三段攻撃などチームの目標を立てて練習をする。 ・ルールを理解し、協力して試合を行う。				・既習技能を高め、チームの目標を立てて練習することができる。 ・ルールを理解し、協力して試合を行うことができる。			
選択球技(バスケットボール) ・既習技能を高め、攻守での自己の役割を理解し、チーム練習を試合に生かす。 ・ルールを理解し、協力して試合を行う。				・既習技能を高め、攻守での自己の役割を理解し、試合で生かすことができる。 ・ルールを理解し、協力して試合を行うことができる。			
選択球技(バドミントン) ・基本技能を高め、シングルスやダブルスの試合でその技能を生かす。 ・ルールを理解し、協力して試合を行う。				・基本技能を高め、シングルスやダブルスの試合でその技能を生かすことができる。 ・ルールを理解し、協力して試合を行うことができる。			
選択球技(ソフトテニス) ・基本技能を高め、パートナーとの連携での自己の役割を理解し、試合に生かす。 ・ルールを理解し、協力して試合を行う。				・基本技能を高め、パートナーとの連携での自己の役割を理解し、試合に生かすことができる。 ・ルールを理解し、協力して試合を行うことができる。			

ダンス（フォークダンス）		
<ul style="list-style-type: none"> 特徴的なステップを身に付け、全身を使って仲間とリズムカルに踊る。 		
体育理論		
<ul style="list-style-type: none"> 豊かなスポーツライフの設計の仕方 		
評価の 観点と 方法	関心・意欲・態度	日頃の授業への取り組みの様子
	思考・判断	日頃の授業への取り組みの様子
	運動の技能	実技試験
	知識・理解	日頃の授業への取り組みの様子